

千葉大学基金

2023年度

活動報告書

INDEX

- 01 学長挨拶
- 02 ご寄付の使途報告・感謝の声
- 03 イベント開催報告
- 04 寄付者からの応援の声
- 05 寄付メニューのご紹介・遺贈によるご寄付のご案内
- 06 2023年度収支報告
- 07 謝意・税制上の優遇措置・お申込み方法



国立大学法人千葉大学長

横手 幸太郎

輝かしい未来を牽引する 世界に冠たる千葉大学へ

— Towards a world preeminent academic institution —

千葉大学は、1949年に5学部の新制国立大学として発足し、2024年に創立75周年を迎えます。新たに「情報・データサイエンス学部および大学院情報・データサイエンス学府」が誕生し、現在11学部と19の大学院、30を超えるセンターなどから成る総合大学に発展しています。この間、高度な専門的知識と倫理観を備えて自ら考え行動し、国際社会においてリーダーとなる人材の育成、主体的に学べる学修環境の整備、多様な文化・価値観を理解する多元的な視野の涵養に向けた海外留学支援の強化に取り組んできました。

一方で、国立大学法人化以降、国からの交付金が継続的に減額されており、経済的困難を抱える学生や若手研究者への支援は十分に行えない状況となっています。そのような中、千葉大学基金は修学支援や研究支援などの貴重な財源となっています。明日の日本の発展を担うグローバル人材の育成へ向けて、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年度 千葉大学基金ご支援総額

377,277,176円

ご支援件数
2,508件

2023年度も皆さまからの温かいご支援とご協力を頂戴し、総額3億7千万円のご寄付を賜りました。

あらためて心より厚く御礼申し上げます。

皆さまから頂いた寄付金は、大切に運用しながら本学の教育研究活動等に活用してまいります

内訳等詳細については【P6 収支報告】をご覧ください



ご寄付の使途報告・感謝の声



よだ さとみ
依田 智未

(看護学研究科 博士後期課程3年)



しのざき まさよし
篠崎 真良

(大学院融合理工学府 博士後期課程3年)



就職支援課の様子



就職ガイダンスには
3,290名の学生が参加



1,025件の相談に対応

○ 若手研究者支援事業

集中治療室 (Intensive Care Unit : 以下、ICU) は、長時間の手術後や一般病棟で状態が悪くなってしまった方など、病院内で特に重篤な患者さんに対して、治療やケアを提供する場所です。ICU患者さんの多くは、疾患や治療に伴う人工呼吸器の装着によって言葉を話すことができず、意思の疎通が困難です。私は、このような状況の中でも、患者さんと看護師がパートナーシップを形成し、患者さんの“その人らしさ”を支え続けるケアを探究してまいりました。

頂戴した寄付金は、国内外の学会参加費、47都道府県の施設に所属するICU看護のエキスパートを対象にした質問紙調査に伴う費用、書籍購入費、英文校正費として使用させていただきました。そして、得られた研究成果の一部は、2024年3月に香港で開催された第27回東アジア看護学研究者フォーラムで発表しました。ご支援がなければ、学会へ参加することや発表することは叶わず、質の高い研究成果を得ることも出来なかったと考えます。このような機会を与えてくださった皆様に心より御礼申し上げます。

○ 修学支援事業 (留学支援)

私はヒトの指先を流れる血液の状態を測定する装置を研究開発しています。その研究成果が認められ、米国オレゴン州ポートランドにて開催された46th Annual Conference on SHOCKのResearch Award Recipient Presentationsセッションで招待講演の機会を得ることができました。講演後の質疑応答では、現役の医師から本装置に対する期待や研究方法の提案等の非常に前向きな意見をいただくことができました。本講演を通して、自身の研究が誰かの役に立つことができるものであると再認識できました。

「大学院学生等の海外渡航支援プログラム」は研究者や研究者を目指す学生にとって大変有難い支援であり、私も本プログラムの支援によって、米国での招待講演を無事に完了することができました。皆様からいただいた寄付によって研究活動が推進され、より多くの人々がその恩恵を得られることができるよう、日々精進してまいります。

学生のお礼のメッセージを掲載しています。

千葉大学公式YouTube →



○ 就職支援事業

千葉大学では、学生一人ひとりが充実した学生生活を送り、安心して就職活動に取り組むことができるよう、皆様からいただいたご寄付を活用し、就職支援情報システム「千葉大学UniCareer」を導入しました。本システムを利用することにより、千葉大学生を強く求める企業からの求人表の検索、各種ガイダンス・セミナーへの参加登録、就職相談の予約などを、いつでもオンラインで行うことができるようにしました。

令和5年度の就職支援事業実績

● 求人情報の充実化

2023年度は就職支援情報システム「千葉大学UniCareer」に30,113件の求人情報を掲載しました。なお、本システムでは各種公務員の募集案内や過去の問題集、OBOGの名簿の閲覧、インターンシップ情報検索なども可能です。

● 年間で92回の就職ガイダンス実施

合同企業説明会・面接会をはじめ、ビジネス・マナー&コミュニケーション講座や公務員受験サポート講座など、幅広い就職サポートセミナーを開催。

また、教養科目において企業の経営者を迎えての授業も行っています。

● 毎日専門アドバイザーによる就職相談、模擬面接実施

一人ひとりのニーズに応える1対1の予約制就職相談を行っております。学外でも、ハローワーク千葉や千葉県が設置した「ジョブカフェちば」において、個別相談や応募書類のチェック、面接対策などを無料で利用することができます。

イベント開催報告



おおはら ともあき
大原 誠章 様
(千葉大学工学部 卒業)

紺綬褒章伝達式を開催しました

本学の発展のため、千葉大学基金へ多額のご寄付をいただいた、本学ご出身の大原誠章様に紺綬褒章が授与されました。紺綬褒章は、公益のために多額の資材を寄付した方に国が授与する褒章制度です。これを受け、2024年1月22日本学において同褒章の伝達式を開催いたしました。いただきましたご寄付は、修学支援及び若手研究者支援のため、大切に活用いたします。

大原様からのメッセージ

私は国立高等専門学校機構 豊田工業高等専門学校に5年間通い、その後、総合大学にて学業を続けたく、千葉大学工学部に3年次編入いたしました。在学中は、学業に限らず、友人たちと親交を深めることができ、大変有意義な2年間を過ごしました。

卒業後は、パソコン周辺機器の開発や製造を行う企業に勤めた後、自営業を営み、日本の将来を支える若者に還元したく、この度、千葉大学基金に寄付いたしました。

千葉大学の学生に期待することは「見る前に飛べ」の精神です。どのような素晴らしいアイデアも実行しなければ成功に結びつきません。慎重な行動も大切ですが、チャレンジすることを恐れていては成功には至りません。思いついたらとにかく手を動かすことを大事にし、将来の世界をより良いものに変えていっていただきたいです。

最後になりますが、私は、世の中の革新を起こすのは科学技術だと考えており、千葉大学には、世界に通用する科学者の輩出に期待しております。この度の寄付が、学生の修学支援や研究施設等の充実の一助になれば幸いです。

千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクトの報告会を開催しました

本プロジェクトは、2017年から千葉大学で環境活動を主体的に担っている環境ISO学生委員会と京葉銀行が協同で実施しています。京葉銀行や地元企業、地域住民、学生などを含めた千葉県内の多くの方々を対象に、環境意識の啓発活動を行っております。

発足当初より京葉銀行様にご寄付をいただき、学生派遣の旅費や活動資金に活用させていただいております。

◆ 表彰 ◆

2023年11月3日に開催された「ASCN（アジア・サステナブルキャンパス・ネットワーク）2023年次大会」における学生活動発表セッションにおいて、「Quality Education Prize（質の高い教育賞）」を受賞。

◆ 千産千消フェア ◆

学生主催による「Chiba Winter Fes」で、京葉銀行の取引先企業が地元産品の販売を行う「千産千消ブース」を設置したほか、「フードロス解消のために新メニューを作ろう」では、飲食店へのインタビューや畑体験・メニューを考案し、期間限定でKONNICHIWA Italian DELI ペリエ西千葉店にて提供されました。その他、古着市や竹林整備体験、SDGs関連企画等を複数企画運営しております。

千葉大学環境ISO学生委員会とは？



千葉大学の環境マネジメント組織の中に位置づけられた、EMS運用を通して大学運営にかかわっている唯一の学生団体です。2009年にNPO法人格を取得し、学内の委員会とNPOという2つの顔を持っています。学内・地域の環境改善だけでなく、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けた様々な活動を行っています。

公式サイト https://www.keiyo-bank.co.jp/ir/eco_project/



伝達式の様子



報告会の様子



千産千消フェア

寄付者からの応援の声



たか つ いるう
高津 乙郎 様

千葉市陸上競技協会会長
一般財団法人千葉陸上競技協会副会長
(千葉大学教育学部 卒業)

「後輩たちの、これからの活躍に期待」

私は昭和43年に教育学部数学科に入学し、教員を目指しました。入学後は陸上競技部に入部し、ひたすらグラウンドを走りました。当時のグラウンドは、降雨で所々水が溜まり走りにくかったですが、教員になった昭和48年に千葉（若潮）国体で教員1,500m競技にて2位に入賞できたことが夢のようでした。大学創立75周年記念事業としてグラウンドが全天候トラックとして生まれ変わると知り、この度寄付をいたしました。陸上競技部の後輩の皆さんがこの素晴らしい環境の中で練習し、大会等で活躍してくれることを期待しております。

私はこれまで千葉市の中学校教員として36年間、子供たちと楽しく学校生活を送ってきました。教員は将来の日本を背負う子供たちの人間形成（人づくり）をする大きな役割を担っております。そして現在は教育学部同窓会報の編集委員を務め、年に数回大学に足を運んでおります。同窓会では、退職した校長先生方が講師となり、現役生のための教員採用試験対策セミナー等を開催しています。1人でも多くの後輩が後に続いていただけるよう、微力ながら寄付をさせていただきました。教員は、教え子といつまでも付き合える素晴らしい職業です。



なが さか たか え
長坂 奎英 様

(千葉大学大学院看護学研究科
博士前期課程 修了)

「千葉大学は人生の目標を持ち、夢を叶える場所」

私は30余年前に看護師資格を取得し、千葉県内の大学病院や都内の公立病院での勤務を通じ、幼少の頃からお世話になった地域の方々への支援をしたい気持ちが強くなり、キッコーマン総合病院で25年間勤務しました。その間、高齢化が進んでいる状況を肌身で感じ、人々が年齢を重ねても住み慣れた地域で少しでも長く健康を保持し、希望の叶う生活ができるように支援したいと考えるようになり、2010年に千葉大学大学院看護学研究科博士前期課程に進学しました。2年間の学修の中で、先生方の厳しい中にも優しさや愛のあるご指導に支えられながら専門看護師実習や修士論文執筆に専念させていただけたことは「やればできる」という達成感に繋がりました。現在は都内の大学で高齢者看護学を教えています。

私にとって千葉大学は人生の目標を持ち、夢を叶える場所だと思っており、昨年より博士後期課程に在籍し、研究者としての研鑽を積み始めました。学生の皆様には、常に夢を持ち諦めず取り組んでいただきたいと思います。皆さんを応援しつつ私も頑張りますので一緒に歩んでいきましょう。

企業からの応援コメント



株式会社新昭和

当社にはこれまで千葉大学ご卒業の方が数名入社しており、そのご縁もありまして貴学の広報誌「ちばだいプレス」のOBOGメッセージにも協力させていただきました。令和4年度には工学部より1名の卒業生が入社いたしました。

寄付に関しましては、ここ数年は留学を希望する学生のために修学支援事業へ支援をしておりましたが、この度貴学が創立75周年ということで、記念事業でありますグラウンド整備事業にも支援させていただきました。今後も可能な限り支援させていただくことと、未来を担う千葉大生の今後のご活躍を祈念いたしております。

寄付者一覧

一定額以上のご寄付をいただいた方々のご芳名を掲示させていただいております。

皆様のご協力に対し深く感謝申し上げます。

皆様からいただいた寄付金は、大切に運用しながら、本学の教育研究活動等に活用してまいります。



個人の寄付者一覧



法人・団体の寄付者一覧

寄付メニューのご紹介

千葉大学基金は「チャレンジを支え、人を育てる」基金です。

大学に一任

幅広く教育研究活動事業に活用させていただきます。



学生支援

修学支援（税額控除対象）
環境ISO学生委員会支援
学部支援、体育会ヨット部支援



研究支援

若手研究者支援（税額控除対象）
みらい医療
研究支援



千葉大学創立75周年事業

2024年に迎える創立75周年を記念して、陸上グラウンド記念募金をお願いしております。陸上グラウンドは全学学生から構成される課外活動団体の使用や普遍教育授業「スポーツ・健康科目」の実践の場としての活用のほか、千葉市の広域避難場所に指定されております。



遺贈によるご寄付のご案内

千葉大学基金では、「遺贈によるご寄付」「相続財産からのご寄付」を受け付けております。頂戴した寄付金は大切に運用しながら、学生の修学支援や教育・研究環境の整備に活用させていただきます。ご不明な点や気になることがございましたら是非お気軽にご相談ください。

未来を担う若者にあなただのご遺志をつなぎます

○ 第一回相続・遺贈セミナーを開催しました

提携している三井住友信託銀行様から講師を招き、2024年1月27日（土）オンラインにて第1回相続・遺贈セミナーを開催しました。相続に関する最新情報を中心に、相続手続きの基礎知識、遺言書の作成方法、相続税の申告などについて解説しました。

○ 遺贈に関する提携・協力機関：三井住友信託銀行／一般社団法人大学寄附遺贈協会

サンクスプレート制度のご案内

サンクスプレートとは、学部プロジェクトへのご寄付に対する謝意として、寄付者様の名称等を、部局が管理を行う教室等の名称に付与する制度です。

西千葉キャンパス初のサンクスプレート設置



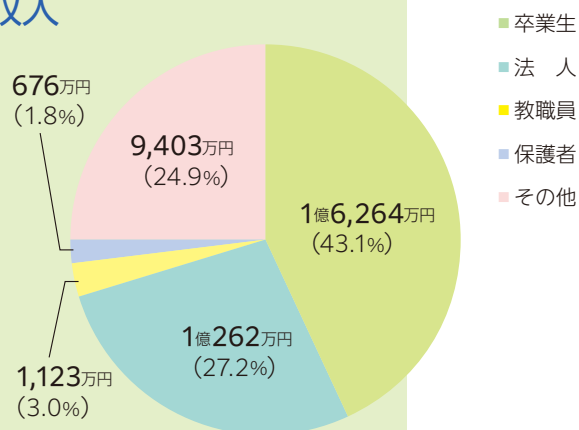
住友重機械工業様から教育研究環境充実のため継続的な支援を受けることとなったことへの謝意として、工学部15号館109号室を「SHI Lecture Room 109」と命名し、このたびプレートを設置いたしました。

企業紹介ボードの前に立つ、住友重機械工業技術研究所の牧野所長（左）と工学部佐藤学部長（右）（当時）



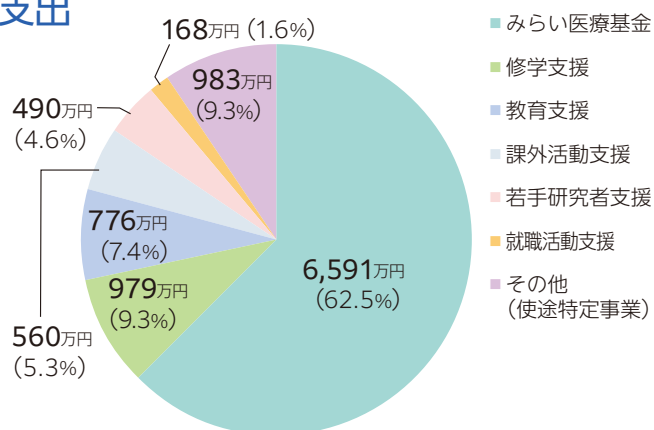
2023年度 収支報告

収入



区 分	件 数	金 額 (円)
卒 業 生	1,527	162,641,789
法 人	177	102,619,478
教 職 員	109	11,227,951
保 護 者	353	6,760,000
そ の 他	342	94,027,958
合 計	2,508	377,277,176

支出



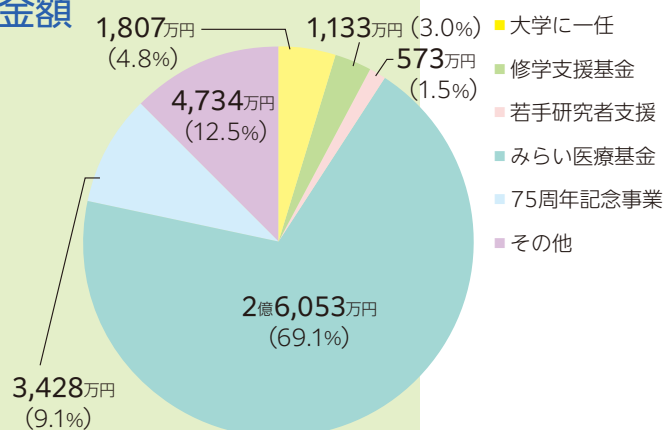
区 分	金 額 (円)
みらい医療基金	65,909,722
修学支援	9,788,725
教育支援	7,755,529
課外活動支援	5,600,995
若手研究者支援	4,903,788
就職活動支援	1,682,800
その他 (使途特定事業等)	9,825,974
合 計	105,467,533

令和5年度収入額	令和5年度支出額	収 支
377,277,176円	105,467,533円	271,809,643円



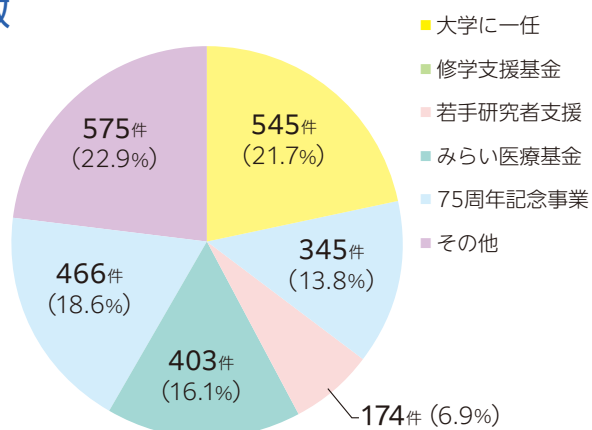
寄付目的内訳

金額



内 訳	金 額 (円)
大学に一任	18,070,612
修学支援基金	11,325,000
若手研究者支援	5,732,000
みらい医療基金	260,525,685
75周年記念事業	34,280,879
その他	47,343,000
合 計	377,277,176

件数



内 訳	件 数
大学に一任	545
修学支援基金	345
若手研究者支援	174
みらい医療基金	403
75周年記念事業	466
その他	575
合 計	2,508



感謝状の贈呈・銘板の掲示

感謝の気持ちを込めて、累計寄付金額に応じた顕彰等を行わせていただきます。

謝意	個人	法人
感謝状の贈呈	100万円～	500万円～
銘板（大）の掲示	100万円～	500万円～
銘板（中）の掲示	50万円～	200万円～
銘板（小）の掲示	10万円～	50万円～
お名前をホームページに掲載	1万円～	3万円～



税制上の優遇措置

01 個人からのご寄付の場合

寄付金が2,000円を超える場合は、確定申告を行うことにより税制上の優遇措置を受けることができます^(※1)。

	修学支援金 若手研究者支援金へのご寄付	左記以外のご寄付
所得税	「所得控除」または「税額控除」を選択できます。	「所得控除」を受けられます。
住民税	お住いの都道府県・市町村によっては「税額控除」を受けられます ^(※2) 。	

◎所得税の「所得控除」について

寄付金額から2,000円を差し引いた額が総所得から控除されます。

◎住民税の「税額控除」について

お住いの都道府県・市町村によっては「税額控除」を受けられます^(※2)。

- ※1 控除の対象となる寄付金額、及び税額控除額には上限があります。詳しくは、基金のホームページにわかりやすく解説しておりますのでご参照願います。
- ※2 住民税の税額控除が受けられるかどうかは、都道府県・市町村が定める条例によって異なります。詳しくは、お住いの都道府県・市町村にお問い合わせ願います。

02 法人からのご寄付の場合

全額損金算入が可能です。



お申込み方法

銀行・ゆうちょ銀行窓口でのご寄付	同封の払込取扱票にご記入のうえ、金融機関の窓口からお振込みください。
クレジットカードでのご寄付	千葉大学基金のホームページからご寄付をお願いいたします。 千葉大学基金
遺贈によるご寄付	遺贈によるご寄付も承っております。 詳しくは、千葉大学基金室（043-290-3902）までご相談ください。

お問い合わせ先

千葉大学基金室

TEL. **043-290-2014**

ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

メール

kikin@office.chiba-u.jp

HP

<https://kikin.chiba-u.ac.jp>

住所

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33

[千葉大学基金](#)



基金の管理運営について

学内に設置した基金運営委員会において承認された活動計画により寄付募集活動を行い、事業実績・収支についてはホームページに掲載し、透明性を確保しております。また、監査は学長が指名した2名で行われております。寄付のお申し出が、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会勢力又は団体の影響を受けている場合には、寄付をお断りし、その者の費用で返金させていただきますので、あらかじめご了承ください。

個人情報の取扱いについて

本学は、「国立大学法人千葉大学個人情報取扱基本指針」に基づき、提供された個人情報を利用目的の範囲内に限って取り扱い、その正確性を保持し、安全性を確保するなど、個人情報の収集・管理等に関する適正な取り扱いを確保するよう努力いたします。ご寄付により取得した個人情報につきましては、本学からの領収書とお礼状の送付、本学から寄付者様にご連絡する必要がある場合や寄付者様の顕彰に関する業務のほか、各学部同窓会での名簿管理に利用します。